

協議会議事要点録

| 協議会議事要点録 | | | | |
|-----------------|----------------------------|-----------|--------|---------------|
| 会議名 | 令和4年度第3回江田島市公共交通協議会 | | | |
| 日時 | 令和4年12月22日（木）13時30分～14時50分 | | | |
| 場所 | 大柿市民センター会議室 | | | |
| 傍聴者 | 3名 | | | |
| 出席者 | 広島商船高等専門学校 | 教授【議長】 | 岡山 正人 | ○ |
| | 江田島バス株式会社 | 代表取締役 | 藤田 睦 | ○ |
| | 江田島バス株式会社 | 従業員代表 | 畠藤 秀樹 | ○ |
| | 広島県旅客船協会 | 会長 | 仁田 一郎 | ○ |
| | 瀬戸内シーライン株式会社 | 船員代表 | 江郷 政毅 | ○ |
| | 広島県タクシー協会江能支部 | 支部長 | 今宮 浩二 | ○ |
| | 江田島市自治会連合会 | 会長 | 濱谷 一眞 | ○ |
| | 江田島市老人クラブ連合会 | 会長 | 古本 眞機 | ○ |
| | 江田島市社会福祉協議会 | 会長 | 堂野崎 平 | ○ |
| | 江田島市女性会連合会 | 会長 | 宇根 民子 | ○ |
| | 江田島市観光協会 | 会長 | 伊藤 富美雄 | ○ |
| | 中国運輸局 | 海事振興部旅客課長 | 山口 光明 | 代理出席 武井 亜弥 |
| | 中国運輸局広島運輸支局 | 首席運輸企画専門官 | 川野 芳枝 | ○ |
| | 広島県 | 交通対策担当課長 | 藤井 剛 | 代理出席 柴田 益良 |
| | 江田島警察署 | 地域交通課長 | 井上 雄介 | ○ |
| | 江田島市 | 副市長【会長】 | 土手 三生 | ○ |
| | 江田島市 | 企画部長 | 奥田 修三 | ○ |
| | 江田島市 | 土木建築部長 | 水頭 顕治 | ○ |
| 1 開会 | | | | |
| 事務局 | 開会宣言 | | | |
| 2 会長あいさつ | | | | |
| 会長 | 土手会長あいさつ | | | |
| 3 議題 | | | | |

| | |
|------------------------------------|---|
| （１）報告事項 | |
| ア 広島県地域公共交通ビジョンの策定について（資料１） | |
| 議長 | <p>それでは、議題の報告事項に入ります。</p> <p>まずは、「広島県地域公共交通ビジョンの策定」について、広島県地域政策局交通対策担当から報告をお願いいたします。</p> |
| 委員 | －資料１により説明－ |
| 議長 | <p>ただいま、説明がありました。</p> <p>本件について、御質問及び御意見などはございませんか。</p> |
| 委員 | <p>コロナ禍の影響により、航路利用者は10年分が一気に減少しました。離島航路であれば、国の支援制度はありますが、橋がかかっている江田島市は離島航路の対象ではありません。</p> <p>先般の新聞報道によれば、電気や自動運転に対応したバスの導入については、財政投融资による支援がありますが、これも船舶は対象ではありません。航路に対する支援が取り残されないよう、広島県の施策を検討していただけたらと思います。</p> |
| 委員 | <p>地域の各市町と連携しながら、陸上交通だけでなく、航路を含めた支援を考えていきたいと思っています。</p> |
| 委員 | <p>広島県地域公共交通協議会の構成メンバーを教えてください。江田島市の委員もいるのか。</p> |
| 委員 | <p>学識経験者、交通事業者、行政、利用者代表として、各部門から4～5名を委員に選出している。市長会の会長である広島市長と町長会の会長である坂町長を委員に選出しており、全市町の代表者がいるわけではない。</p> <p>県社会福祉協議会や県観光協会、県PTA連合会の代表者も参画しており、どうしてもマクロの話が多くなる傾向であるため、本日のように市町の交通協議会に参加し、各地域の要望を聞きながら、ビジョンの策定を進めています。</p> |
| 委員 | <p>資料P22に「地域のリソースの総動員」とあるが、具体的な方向性を教えてください。</p> |
| 委員 | <p>現在、広島型MaaS推進事業や路線バスが運行していない地域や免許返納が難しい地域において、AIを活用したデマンド運行等の支援を行っている。世羅町では、地域住民が自家用車を利用した「ついで乗り（ボランティア輸送）」の仕組み化を進めており、そういった事例を県全体にも広めていきたいと思っている。</p> |
| 委員 | <p>江田島市ではあれば、デマンド運行（おれんじ号）の拡充や低額の循環バスの運行等が想定されるのか。</p> |
| 委員 | <p>一律的な取組を支援するのではなく、地域の意見を聞きつつ、行政と連携して地域の実情に応じた支援を行いたい。</p> |
| 委員 | <p>資料P21に「新技術の導入（自動運転、MaaS）」とあるが、広島県内でモデル地区はあるのか。</p> |
| 委員 | <p>福山市や呉市の駅前自動運転の実証実験を行っている。都市部よりも中山間地域等では運転手等の人材不足が顕著であるため、そうした地域でも自動運転の実証実験を行っていきたい。</p> |

| | |
|--|--|
| 議長 | その他，御質問及び御意見などはございませんか。 |
| 各委員 | （質問・意見等なし） |
| 議長 | ないようでございます。 それでは，次の報告事項に移ります。 |
| イ 江田島市原油価格高騰対策緊急支援金の追加措置について（資料2） | |
| 議長 | 続いて，「江田島市原油価格高騰対策緊急支援金の追加措置」について，事務局から報告をお願いします。 |
| 事務局 | －資料2により説明－ |
| 議長 | ただいま，事務局から報告がありました。 本件について，御質問及び御意見などはございませんか。 |
| 各委員 | （質問・意見等なし） |
| 議長 | ないようでございます。それでは，次の報告事項に移ります。 |
| ウ おでかけ無料乗車 day の実績について（資料3） | |
| 議長 | 続いて，「おでかけ無料乗車 day の実績について」について，事務局から報告をお願いします。 |
| 事務局 | －資料3により説明－ |
| 議長 | ただいま，事務局から報告がありました。 本件について，御質問及び御意見などはございませんか。 |
| 委員 | おでかけ無料乗車 day の実施日は，運賃が無料となるため，利用が増えるのは当然である。トータルとして利用者の増加に繋がらなければ意味がない。例えば，高齢者に限定にした方法や航路にある1日フリーパスの創設など，抜本的な見直しが必要なのではないかと。 |
| 事務局 | 昨年度のアンケート調査の結果では，約3割の方は取組を知らずに乗車し，約2割の方は取組がバスに乗る動機付けとなっています。市民の方にバスに乗ってもらい，バスが使えるものだとして認識してもらうことにより，利用者の増加に繋がりたいと思っています。 現時点では利用者の増加には至っていないため，委員の意見を参考にしつつ，来年度の制度設計を検討していきたいと思っております。また，参考までに江田島バス株式会社においても，広島電鉄の「MOBILY」を利用した24時間乗車券を販売しています。 |
| 委員 | おでかけ無料乗車 day を年に2回，実施しているが，江田島北部線と沖美北部線は土日祝が運休となるため，実際には年に1回の実施となる。公共交通の利用促進と需要喚起を図り，公共交通の利用を定着させるためには，もう少し回数を増やした方が良いのではないかと。 |
| 事務局 | 委員の指摘のとおり，確かに年に2回の実施では少ないかもしれませんが。本イベントの市負担額は，路線バスで1日12～13万円，おれんじ号（1系統）で1万5千円程度となっており，交通施策全体の費用と比べれば，そこまで大きな負担ではないため，交通事業者等と相談しながら，来年度の実施回数を検討していきます。 |

令和4年度第3回江田島市公共交通協議会（令和4年12月22日）

| | |
|---|---|
| 委員 | 海の日、航路では子供の運賃を無料にしており、広島市内の公共交通機関も無料にしているところが多い。そうした所と連携すれば、更なる利用促進に繋がると思います。 |
| 議長 | 事務局において、各委員からの意見を参考にしながら、来年度における実施回数や実施日等を検討していただけたらと思います。 その他、御質問及び御意見などはございませんか。 |
| 各委員 | （質問・意見等なし） |
| 議長 | ないようでございます。それでは、3件の報告事項を終了します。 |
| （2）協議事項 | |
| ア 江田島市乗合タクシー運行業務委託について（資料4） | |
| 議長 | それでは、協議事項に移ります。 「江田島市乗合タクシー運行業務委託」について、事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | －資料4により説明－ |
| 議長 | ただいま、事務局から説明がありました。 本件について、御質問及び御意見などはございませんか。 |
| 各委員 | （質問・意見等なし） |
| 議長 | ないようでございます。それでは、次の協議事項に移ります。 |
| イ 江田島市地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価について（資料5） | |
| 議長 | 続いて、「江田島市地域内フィーダー系統確保維持事業の事業評価」について、事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | －資料5により説明－ |
| 議長 | ただいま、事務局から説明がありました。 本件について、御質問及び御意見などはございませんか。 |
| 各委員 | （質問・意見等なし） |
| 議長 | ないようでございます。それでは、全ての協議事項は終了します。 |
| 4 その他 | |
| 議長 | 前回の協議会で協議した「バス路線網の再編」について、12月1日から路線バスのダイヤ改正が行われました。ダイヤ改正後の状況報告等がありましたら、江田島バス株式会社からお願いします。 |
| 委員 | 今回のバス路線網の再編は、初めての抜本的なダイヤの見直しであり、大掛かりな作業となりました。関係者の皆様には、この場を借りて感謝を申し上げます。ありがとうございました。 ダイヤ改正後から約半月が経過し、PASPY等の利用実態を確認していますが、どの路線においても利用者増には至っていません。また、早朝と最終便以外の便で中町航路と接続した「大柿～能美線」についても、微増に留まっているため、路線バスが便利になったことを知ってもらうための周知方法を検討していきたいと思いま |

令和4年度第3回江田島市公共交通協議会（令和4年12月22日）

| | |
|--------------|---|
| | す。 |
| 議長 | その他、ございませんでしょうか。 |
| 事務局 | 事務局から事務連絡が1点あります。 次回、第4回江田島市公共交通協議会を令和5年3月中旬に開催する予定です。 時間や場所については、また後日御案内させていただきますので、よろしくお願 いします。事務局からは以上です。 |
| 議長 | その他、ございませんでしょうか。 |
| 各委員 | （意見等なし） |
| 議長 | ないようでございます。 |
| 5 閉 会 | |
| 議長 | それでは、以上で本日の協議会を閉会させていただきます。ありがとうございます。 |